

LYNX

Cross

Review



**Over 62 Title
Review Now**

日本LYNX普及委員会

目次

1 目次

2 カートリッジ

4 レビュー

20 総評

LYNXカートリッジ の秘密

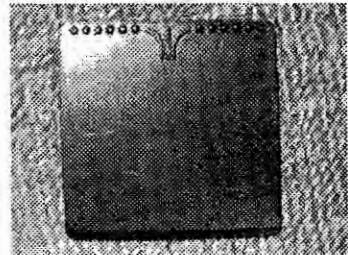
LYNXのカートリッジは御存知のようにカード状になっていて、大変小さい。おかげで何十本もソフトを携帯しても全然気になら無い。これはLYNXの利点の一つだろう。その分、無くしやすいのだが(^^;さて、このカートリッジだが、数種類の型があるのはご存じだろうか？大きく分けて2種類、それぞれに特殊な物が2種類、計4種類のカートリッジがある。

初期型



LYNX発売直後は、この型が使われていた。ATARIマークと球状の突起が噛み合い、重ねてしまっておく事ができる。ATARIマークという所が、マニア心をくすぐる(^^;

ただ、LYNX本体装着時に手に引っかからず、なかなか抜けないという欠点があった。

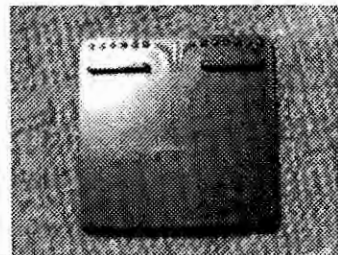


初期型改



ベースは初期型なのだが、裏面に垂直な板が付けられ本体から取りだし安くしている。しかし、この型は安易に改良しただけなので初期型の利点である、カートリッジの積み重ねが出来ないのだ。ただ、このタイプはガントレット

ットのみなので、一番下にすれば問題は無い。しかし、著者はガントレットを複数所持しており、それだけ浮いている(^^;

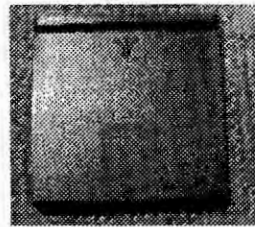


後期型（普及型）



最も多くのタイトルがこの型で出されているので、このタイプが標準だと言って良いだろう。カートリッジの端が裏面に湾曲しており、本体から抜き易くしている。初期型改よりも、見栄えは良いのだが、やはりそのままでは積み重ねられない。それを補うために写

真のような重ね方を考案した。裏面同士を上下逆に重ねる。こうすれば、重ねても斜めになる事はない。この方法ならLYNXポーチやバックのソフト用ポケットにも沢山入るだろう。

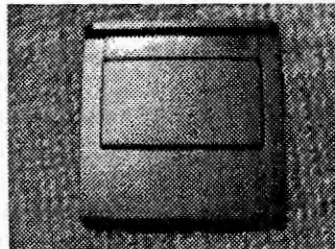


変形型



ベースは後期型なのだが、裏面に突起物がある。おそらくチップの容量が足りなかったので大きい汎用のROMを使ったのだろうと推測される。

このタイプはKLAXのみだという事からも裏付けられる。同タイトルはサンプリングを駆使したBGMとナレーションで相当容量が使われているからだ。しかも、他のカートリッジは全て"Made in China."となっているが、このタイトルのみ"Made in Japan"で、表のシールも少し他の物より大きい。



	ブルー ライトニング	カリフォルニア ゲームズ	チップス チャレンジ
	3Dのシューティングゲームだ。秘密開発された「ブルーライトニング」を操縦して敵地に乗り込み、敵の本拠地を叩き潰せ。	BMX・サーフィン・ハーフパイプ・フットバックの4本が一緒に入って、楽しさ3.1倍(当事者比)各ゲームは2人で対戦が可能なので、更に楽しめます。	憧れのメリンダとつきあうために、全144面のパズルを解くのだ。各面は規定数のチップを取るとクリアできるぞ。パスワードもあるので、これでママも安心。
ぼこ LYNX本のメインライターにして編集長かつスポンサーでもある売り子。全てのLYNXソフト(4in1含む)をプレイした男。チップスチャレンジャー(謎)。全てのゲーム機を保有し海外国内問わず月数万のソフト代を使う大馬鹿者。	3Dの飛行機ゲーとしては、他のゲーム機含めかなりの出来。ただし、海外ゲーにありがちな、BGM無し、敵が出てこない時間が長い、といった欠点(?)もある。しかし、下手なポリゴンゲー等よりもスピードも迫力もある逸品である。	正に、LYNXの頂点に立つといっても過言ではない。確かに、BMXもサーフィンも良いが(ハーフパイプはおいといて)、真髓はフットバック。世界が亡びて2人しか生き残らなかったとしても、リンクス2台とフットバックさえあれば死ぬまで退屈せぬこと必至。	非常にバランスのとれたパズルゲー。パズルだけでなく、アクションやタイミングもある程度要求されるが、それほど難しくはない。1月かからず全144面を狂ったように解きまくってしまった。このゲームの唯一の欠点は、面が無限に無いことである。
おきやす 愛媛で一番のLYNXユーザーです。持っているソフトは37本、本体は1が2台、2が1台(現存数)だったりします。因みに買った台数は8台くらい(笑)もしかしたら日本一?それと、BMXは俺より強い奴に会いに行きたいぞ。	やはりオープニングが圧巻。回転拡大縮小ががんがん使っていて、店頭デモを見て買ってしまった人も多いだろう。すぐにループしてしまうのが残念と言えば残念だけど、2面などは山間を縫って飛んだり、マニア心を擽るところなどうまい作りだよなあ。	BMXしかない。もうこれだけあれば充分。シンプルなゲームに見えて実は異様なまでに細かい処理が隠されている(と思う)。もう極めても極めてもさらに奥があるような感じで、全然飽きないのだ。自己最高は1310ptsまで来たが、実はまだいける(笑)。	パズルゲームは結構好きなので填ってしまった。アクションとパズルの比重が面によって変わるので、パズルが苦手な人でも大丈夫だと思う。でも、根気だけは必要だけどね。問題はエンディングだよなあ、あれ(メリンダ)の為に頑張るか普通?
YAS 貧乏暇なし、ついでに最近体力までないYASです。あ〜辛い。 たらきゅう 古のゲームもはめっぽう強い。BGMの良さとゲームを評価する。特に限られた音源で頑張っている作品には評価が高いぞ!	気分は完璧アフターバーナーだなあ。(´_`)谷間とかを飛び感じとかがとても気持ちいいんだ。発売したころはデパートとかで大会とかやってたんだよなあ。日米対決とか・・・(笑)LYNXの良さを再確認させてくれるソフトだね。	初期の名作。同名の異機種のは別物だけど私はこれが一番好き。以外と知られてないけど4人までコムリン接続出来るのだ。4人並んで河原でぐるぐるするぞ!US版のLYNXには標準でこれが付いてくるくそうだ。アウトドアでスポーツゲームをするLYNXのコンセプトそのものだ	いろんなパズルゲームの良い所を抽出した濃いゲーム。最初の方って結構、暇潰しにぴったり初心者からお猿までってゲームの鏡ですね。BGMも多彩で飽きないし。おじやまやうも象徴的なLYNXキャラだよなくちなんかもうって感じ。一体エンディングは何人の人がみたんだろう

エレクトロコップ

君はエレクトロコップとなり、さらわれた大統領の娘を助け出さなくてはならない。3Dの迷路を走って端末を見つけ出し、扉を開いて出口を見つけ出せ。

3Dというのをかなり強調したソフト。それだけに距離感がいまひとつと掴めず、結局なにがなんだか分からない感じになってしまっている。ただし、ゲーム中でブロック崩しができたり、動きが凄く良かったり、と変なトコで凝っているのが好きな人にはいいかも。

実はあまりやっていない。いやあ、MAPを書かないとゲームにならないところが問題だね。途中でゲームばかりして先に進まないのもあれだけど。でも、通路に幅があったりトラップがあったりと、やり直していたら以外と面白いぞ。

拡大、縮小機能を使って無理矢理3D処理する発想はいいの。曲もカッコいいしね。でも少しゲーム内容に魅力が欲しいかも。背景とかバグとかね。端末をハッキングするっていうのは好き。特にハックを解いている間にゲーム中ゲームが出来るのは面白いなの。ぶきやあ

ゲート オブ

ゼンドコン

LYNX唯一の横スクロールシューティング。3種類のオブションによるパワーアップ方式で、面はワープゾーンに入ることでクリアとなるが、前の面に戻されることもある。

スピード感無し、自機の当たり判定も異常に小さく、弾避けも殆ど存在しない、といった横シュー。しかしそれを補ってあまりある雰囲気、敵の異常さ。特に、敵の動きについては、このゲーム以外では見たことのないようなのばかり。シューター必見ソフト。

横スクロールタイプのシューティングは好きなので、きっちりMAPまで書いてしまった(笑)。HARDでやるとスピードも速く結構難しいので、腕に自信のある人は全面クリアを目指してみましょう。因みにエンディングはまあまあいいです。

これぞLYNXって感じのシューティング。自機の動きの感覚が昔の88のスーパーライト無しのゲームみたいな感じでしゅねー日本のハカリシューティングが好きなのは向いてないかもしれない。でも裏ステージとかそういうのって日本のをまねっこしてるよね。LYNXじゃーなら絶対買うの。

ガントレット

4人同時プレイ可能のアクションRPG。性能の違う数人のキャラクターからマイキャラを選び行動する。なんしなくても体力が減ってしまうのでのんびりは出来ないぞ。

4人プレーがアツい。他人への支援、妨害、攻撃、アイテム横取り、等が出来るので複数でやると燃えること必至。ただし、敵の攻撃がかなりキツイので、複数でのエンディングはほぼ不可能か。まあ、複数でやるときはエンディング目当てじゃないからいいけど。

むずい。全面クリアを目指そうとすると、戦略が必要になってくるので、ちょっと息抜き程度にやるくらいでは全然歯がたたない。でも、このゲームは人数でやってこそ本当の面白さが分かると思うぞ。当然4人がベストだが、普通はメンツがそろわない。

これはハマった。全面MAPを書いたくらい。(笑)4人でやると、進まないわ殺し合いになるわ結構楽しい。気になると言えば、LYNXを立ててやらなければならない特殊性と全40面中パスワードが20面までしかないという辛さだね。本当に辛い。(T_T)

クラックス

転がり落ちて行くブロックを並べて消していけ。各面には異なったクリア条件があり、それを満たさないといつまでもクリアできないぞ。それと、オープニングは必見。

シンプルなゲームだけに、移植度はほぼ完璧。あとは好き好きでしょう。私は落ちゲーは弱いので駄目です。でも、オープニングの曲とゲーム中の効果音だけの為だけでも買う価値は充分あると思うけど。

特筆すべきはオープニングだね。音源からは想像出来ないほどの凄いい曲が使われていて、LYNXの中では最高の出来といっていいたいだろう。しかも、ゲーム中は喋る喋る。まあ、カートリッジの厚みは伊達ではないということだね。

テリスに始まる一連のスタッフなゲームとしてATARIが出したアークの移植物。シフトノリの疑似3Dで板が転がって来る。ゲーム事態そこそこのだがBGMが曲やSEがとにかく凄まじいPSGでここまでカッコよく出来る物だと思うオープニングのデイスティンクターはもう感涙もの。

スライムワールド	ゼノフォーブ	ザーラ マシナリー	ミス バックマン
8人まで同時プレイ可能なサイドビューの(スライムの)洞窟探検ゲーム。メガドライブやPCエンジンでも出ているが、元祖がこれ。スライムを倒しつつ出口を目指せ。	エイリアンに占拠された基地からエイリアンを全滅させる!全滅させるか、基地を自爆させるかで面クリア。4人同時プレイ可。エイリアンを操ることも出来るぞ!	縦スクロールシューティングゲームだ。各種のパワーアップアイテムを取るによりパワーアップする。それぞれ1段階パワーアップなので復活は楽だぞ。	LYNXのバックマンは女の子だ。バックマンの迷路とは違う迷路になっている。あとのゲームシステムはバックマンと同じだ。まさに、バックマンファンの為の一本。
文句無しの10点ソフト。ただし、3人以上人がいるのが条件。8人でも重くならないスピードは驚嘆。これも強力、妨害等出来るが、最高なのは虐殺。7人が1ブロックに固まってる所にメガボム落した快感は、やった奴しか分かるまい。死んでも買え。	4人プレイ出来るのだが、妨害が出来ないので評価を落している。やはり、複数プレイの真価は妨害。とはいえ、ゲームシステムもしつかりしているし、雰囲気も良いので、その気になってやればかなりハマる。難易度はそれほど高くない。	4人同時プレイ可の縦シュー。動きやスピードは普通なのだが、何か違う。プレイしていると、普通の縦シューとは明らかに違う何かを感じる。しかし、それが何だかは謎。歩いてる歩兵を殺すと3ゴールド入るという容赦無き虐殺ソフト。虐殺マニアは買い。	バックマンだが、面毎にマップが違う。稲妻取ってスピードアップしたりする。バックマンマニアにはいいかもしれないが、いまさらバックマンでもあるまい、という人には絶対に勧められない。尚、ゲーム中のマイキャラにはリボンが付いていない。
ゲームの設定がなかなか良い。「うじょうじょ」したゲーム画面で「にゅちやにゅちや」進むところなんかGOOD!5面までのMAPを書いてしまったが(こんな事ばかりやってるな)、6面はコンティニュー無しなのでクリアできない。誰かMAP書いてくれー	同じ事を誰かが書くと(思うが…)エイルリアン見たいな設定。ドアが開いたときに敵の音がしたら、ドアの近くで攻撃すれば隣りの部屋の敵を倒すことも出来るので、レベルが進んだときはうまく使った方がいいと思う。あとは、消化器の使い方が次第かな。	初の縦スクロールシューティングゲームということで、結構いい出来です。パワーアップが1段階なのは、復活が楽なので良いと思います。最近の多段階パワーアップはいきすぎて好きじゃないのだ。でも、ノーマルだと敵が堅いのだけは勘弁だな。	バックマンだけどねえ。何かこう燃えないんだよね。アーケードの面とオリジナルの面の2種類から選べたり、アイテムが色々あったりとアレンジされてるのが肌にあわないのかな?パターンも使えないし、バックマン1が面白くなかったのと同じかねえ。
もう、ぬとぬとのぐちよちゃって感じかな。(^^;)この感覚はやってみなきゃわかんないね。8人まで繋げることが出来るけど、そんなときやもう画面中キャラだらけでも処理自体は重くならないし、煩わしさもなし。しかしMAPが広すぎるぞ。(T_T)	横型10型の歩き回りゲーム。マイキャラを6人から選べるんだけどこれがまたかっこいいのだ。7人とかLYNXには少ない女性キャラもいるぞ!4人まで同時参加なんだけど、ウルトラ警備隊みたいに分担作業的で好きだな。よくよく考えてみるとエイリアンをモチーフにしているのかな?これって	楽しくて難しいね。画面の狭さを感じさせない。さすがに4人でやるとなにかなんだかわかんなくなるけど、アイテムとかも基本的なものが多いし、結構とつきやすいのではないかな?ちょっとひたすら避けてみたいなって人にはお勧めです(笑)	MS.になったからといってどうってことはない。まさにPAC-MANである。「LYNXでPAC-MANがあ!!!!」とか、「懐かしい!!!」とかいう人にはいいかも。しかし、MS.とつくりわりにはPAC-MANというのはなぜ?

ペーパーボーイ

ランページ

ライガー

ロード
ブラスタース

君はデイリー・サン紙の新聞配達少年だ。受持ちの配達区域のお得意様に、毎日間違いなく新聞を配達しなければならぬ。うまく行けばお得意様も増えて行くぞ。

新聞宅配による家屋破壊ソフト。って、上手い人がやれば新聞宅配ゲーなのだが、私がやると単なる家屋破壊ソフトになってしまう。このゲームをやった事があって好きな人なら買い。知らない人は、手を出さないのが懸命かと。恐いもの知らずなら可。

もうひたすら単調なゲーム。自分のスピードとポストまでの間合いを掴んでしまえば全て終わってしまうのだが、これがそう簡単にはいかない。人の家に新聞を投げ込んでしまいか、クラッシュして終わってしまう。まあ、やりこむ気はないからいいけど…。

これはもう有名なATARIのアーケードからの移植物。本物はジョー・ライダーが自転車のハンドルだった斜めスクロールのアクションなんだけど、どうも斜めは苦手だな。操作感覚が掴みにくい上にハードなアクションで私は途中で怯みました。でもUSでは受けがいらしくSNESでは続編もある。

怪獣に変身した自分が、ビルを破壊し人を食べるゲーム。軍隊が攻撃してくるから、それを避けたり破壊したりして、どんどん街をブツ壊せ！！

自分が怪獣に変身して、街を破壊し人を食うというとてもないソフト。当然、敵は軍隊となる。4人までプレイ出来て妨害も出来るのだが、このゲームやっていると人を食う方が楽しくて妨害などしなかったりする。面数が多いので、クリアは至難の技。

ああ、設定が何とも凄いゲーム。化学薬品を食べたから巨大化するってのもなあ。しかも人間を食べると回復するっていうのはいいのか？でも、ビルを壊して、電車を壊して、とめちやくちや出来るでストレス発散にはいいよ。しかし、何面まであるんだろ？

モンスターになって破壊しまくるは、人を食べるはキングコングやゴジラタイプの展開だね。LYNXの箱にも画面写真が載っていた割りには発売が遅くその割りには曲がチャップスからのパクリだったりとかちょっとテヌキな所があるかなあ。ゲーム性が良いからいいや。

昔ゲームセンターにあった「アルゴスの戦士」の移植版。そういえば、セガマークⅢ版は「アルゴスの十字剣」ってタイトルだったな。なんでタイトルを変えたのだろう？

アルゴスの戦士の移植版。元ゲーをやったことないので移植度は分からないが、ゲームとしての完成度からするとかなり忠実に移植しているようだ。ただし、BGMは無い。ゲームの難度も高めなので、あるていど以上進むのはけっこう大変。

要は「アルゴスの戦士」。タイトルくらい差し替えた良かったのにねえ。ゲームセンターそのまま、移植は良く出来ているぞ。ただ、画面が小さい為に色が滲むせいか、敵キャラが見にくく序盤でやられやすいのだ。

御存知テクモの「アルゴスの戦士」の移植。でもなんで突然この手の日本ゲーが単発的に移植されたのかは謎だね。で、ゲーム内容はというと移植度は高く安心して遊べるのだ。でも、あえてこーいうゲームをLYNXでやる必要があるのかなって考えてしまうのであった

カーアクション+シューティングの要素を持ったゲーム。車で走り進みながら的をレーザーで破壊する。アイテムがあつたり地雷があつたり、コースも一筋縄では行かない。

車載レーザーで車をブツ壊して行くゲーム。グラフィックも良く、結構爽快なのだが、単調なのが弱点。レース&シュートなので、コースと敵両方に気を使わないと駄目。のめりこむまで大変だが、壁を越えると楽しい。面も多いので好きな人向け。

あれだな、このゲームをクリアするには方法は1つ。アイテムの落ちている場所を憶えるだけ。特にエネルギーは重要、でも無理をして地雷を踏んじやうと元も子もないから注意してね。画面をビデオに撮ることが出来れば、MAPが書けたんだけどなあ。

例のLDゲームとは似てるけど別物。よくあるレシク物にシューティングの要素を付けたもの。やっぱりこの手のゲームにありがちな覚えゲーでどうもぼつとしないうって感じ。そこらへんは日本っぽいゲームなのかもしれない。LYNXらしいゲームに飽きた人にはおすすりめかもしれない。

ロボスカッシュ	上海		A. P. B.
3Dスカッシュ。実際は凄く疲れるスポーツだが、LYNXでお手軽に遊ぶことが出来る。しかも、スピード感もあるしアイテムもある。でも運動不足解消にはならないぞ。	おなじみのパズルゲームがLYNXに移植された。LYNX独自の配列もあるし、2人プレイで競走することも出来る。他のゲーム機とは違った遊び方が出来る。	以降は日本未発表のソフト達です。	全国指名手配犯を捕まえるべく、Bob巡査は今日も街を走り回る。犯人を見つけたら照準をぶつけるか体当たりで攻撃だ。ノルマに足りないと部長が火を噴くぞ。
3Dスカッシュ。拡大縮小を上手く使っている。この手のものにありがちのどこまで近付いているか分からない、といった事も無い。アイテムも楽しくて良い。ただし、BGMがないのが少し寂しい。対戦でもCOM戦でもそんなに変わらずに楽しめる。	普通の上海。クリアしたからといっておねーちゃんが脱ぐわけじゃないので、純粋な上海人向け。配列がいくつかあるのが良い。まあ、アメリカ人の描くおねーちゃんが脱いでもちょっと嫌なので、これでいいのかもしれない。		謎ゲー。一応車ゲームなのだが、ルールとか良くわからない(マニュアルがちと難しい)。よってあまりプレイしていないので、あまりとやかく言えない。おきやすの方が詳しいのでそちらを参照するように。とりあえず、点数はつけたけど。
これも辛い(からいじやないぞ)ゲームだ。敵はほとんどミスをしてないから、ひたすら耐えるしかない。人気がなさそうなのは、拡大縮小を使っている割りに、どうも派手さが無いのが問題かも。しかし、このゲームをやっていると眠くなってくるのは俺だけ?	おなじみ上海です。パターンが限られているのかと思って、配置図を書いてみましたが10パターンかいたところで断念しました。実はランダムなのかも知れない。元々、上海は苦手なのでどうしてもクリアすることが出来ません。困ったもんです。		実をいうと最初はゲームのやり方が全然分らなかった。分かってしまえば何でもないんだけど、普通分からないぞ。練習ステージ以降は同じ街の色々な所を走り回るだけなので、MAPを書いておくと迷子にならずに便利。でも、かなり広いぞ。
対戦が熱い!もう完全に重箱の隅のつつき合い。アイテムを取った時なんて、思わず「ニヤリ」と笑みがこぼれてしまう。勝った時のポイントを五目並べの要領で並べてそれに応じて得点がもらえるってところがうまく得点という物を生かしてると思う。	非常にオーソドックスに出来てると思う。小さい画面にしてはパイの表示が良くできてるし。対戦で取り合いが出来るのもなかなか楽しいね。でも、やっぱり上海は上海なのだ。(なんのこっちゃ)		うおー70年代のアメリカンって感じ。ちょっとだけ進化したラリーXですね。独特の操作感覚と雰囲気だけでも必見の奇ゲーだね。こういうシンプル画面で奥が深いとのめりこんじゃうねー。おかげでこれやるときはドンナツ買って来てからやる事になっているよん。

ブロック アウト	チェッカード フラッグ	ハード ドライビン'	石道
ゲームセンターでもおなじみのブロックアウトです。上から落ちてくるブロックを3次元に回転させて、隙間無く詰めると消えていきます。以外と難しいぞ。	6人プレイ可能なレースゲームだ。コースの種類も豊富だし、細かいところも凝っているので感動すること間違い無し。通信プレイで友達をブッチぎれ!	ポリゴンを使ったドライビングゲームです。スタントとスピードの2コースがあり、それぞれを時間内にクリアして規定周回数を越えれば、チャンピオンと対戦です。	あまりメジャーではないが、いろいろなゲーム機で出ているパズルゲーム。手持ちの石を規則に沿ってボード上に置いて行くゲーム。一筋縄ではいかないぞ。
アーケードからの移植。3Dテトリス。ただ、回転方向が3方向あるために、オプション1を使わなければならないのが惜しい。おかげで、咄嗟の時には指が行かずに2方向回転だけでやる時もある。精進すれば問題なしだと思うが。	レースゲーム。6人まで可能。家庭用ゲーム機では最多。それだけに楽しい。勝てないと、わざと周回遅れて邪魔したり、スタート時のダンゴ状態でS字走行して妨害したりも可。コーナーの立ち上がりのデッドヒートは鳥肌すら立つ。最高のレースゲーム。	3Dカーシミュレーション。移植度は良いが、パッドとボタンなので、クラッチ操作がなくなったのが寂しい。グラフィックはポリゴンでガンガン動く。牛も鳴く。どちらかというと、ポリゴンの完成度を見るのが楽しいゲーム。	いろんなゲーム機にあるパズルゲーム。なれるまではクリアできないだろう。コツを掴めばいいのだが、それまでに時間がかかる。上海型なので、その手が好きなのはいいが、そうでないと単なる寂しいゲームでしかないだろう。デモの花火は奇麗。
操作方法をマスター出来るかどうかで勝敗は決まります。ジョイパッドの所にブロックをイメージすると楽かも。ただ、マニュアルに誤植があるので迷わないようにね。やり込んでみると以外と先に進むので、ストレスが溜らなくていいです。	多人数でやらないとあまり面白くないよ。6人で10周くらいで競い、ポイント制にして半日くらいひたすらプレイするのが基本(大嘘)。ヘッドホンをつけてやると、敵が迫ってきたときの臨場感が増すのでおすすめかな。	ポリゴンゲームということで、よくできていると思います。牛とかもちゃんとしているね。ただ、微妙なハンドル操作が必要なゲームを、パッドでやるというところに無理がある気がする。一旦コースアウトすると、復帰が難しいんだよね。	基本法則にしたがって石を置いていくパズルゲームなんだが、高得点を目指そうとすると結構難しい。無難に置いていくより、途中で手詰りになる可能性も増えても4-WAYを狙った方がいいと思うぞ。それと、Cooperativeが結構燃えるので是非やってみてね。
いわゆる3Dテトリスですね。日本では著作権問題が波及していてあんまりお目見えしてないようですが、頭がバカキープになっちゃいます。スジガネ入りのパズル猿にはおすすめです。そうでない人は根性いりませ。全体的な構成はまるで一す。	やはり6人プレイができる!これに尽きるでしょう。ギアも3種類位あって、自分にあつたのを選べるし、コースも多彩なのがいいね。しかし、COMに抜かれるとほとんど取り戻せなくなるのは辛い。強すぎるぞCOM!因みに仲間内ではCHAMPです私。	ゲーセンの感覚がよく伝わってくるね。よく移植してあるとおもう。しかし、あのハンドル感覚をパッドで再現するのはやはり難しいようだ。慣れるまでが大変だね。スピード感があまり感じられないのもちょっと気になるな。	あっちではやらせようとしたパズルゲーム。どうも私には理解しにくい。IBMとかAMIGA用もあるみたい。IBM用には本物の石が付いてるバージョンもあるんだって。だったら、LSI付きのチップがあってもいいかも。と脱線したけどオプニングの花火が結構奇麗。

バックランド	スクラップヤード ドッグ	S. T. U. N. ランナー	ターボサブ
アーケードよりの移植。バックマンシリーズの2本目だ。これはアーケードそのままなので、アーケードにハマった人ならかなり進めるだろう。	大事な友達の、犬のスクラップスがさらわれた。スクラップスがミニにされてしまう前に、助け出すためにひたすら進むのだ。よくある横スクロールアクションゲーム。	アーケードで大ヒットしたアーケードの移植。3Dポリゴンで描かれた背景やキャラがかなりの速度で動く回る。スピード命のシューティング。	3Dのシューティングゲーム。スペースハリアーみたいな感じのゲームで、スピード感はかなりある。2人プレイで得点を競うこともできる。
アーケードからの移植で、かなり忠実に移植されている。アイテムの位置などは殆ど同じ。もともと出来の良いいゲームなので、楽しい。ただし、コンティニューが限られているし、難易度が高いので、上手い人でないと先に進めないかも。裏技で自機を増やせる。	スーパーマリオタイプのゲームではあるが、あれ程楽しくない。自由度が低いために、先に進むにはパターンを覚えていかないとツライ。グラフィックに難があり、背景とオブジェクトの区別が付けにくい。初めて行った面ではそれでミスる事も多い。	アーケードからの移植の3Dポリゴンゲー。スピード感が最高。グラフィックも奇麗。効果音も良い。難易度もそれほどでないで、やりこんでルートを覚えればエンディングは見れる。とにかく速い。是非買うべし。	拡張を使った3Dシューティング。これまたスピード感抜群。ゲームシステムもありがただがっかりしているのが良い。難易度は低めなので、スピードに感心してるうちにエンディングかもしれない。2人プレイが出来るが、別々に点数を競うだけで意味がない。
移植はよくできてる(はず)。アーケードの方をあまりやり込んでいないので、細かな所は分からなかったりします。でも、隠しコマンドとかがいくつかあるので、ヌルゲーマでも何とかやるんじゃないかな? えっ俺? 俺はパス(笑)	設定がなんかいいぞ。クズ置場に住んでいる少年が主人公のゲームってのも見たことないよな。ゲームは某ヒゲオヤジみたいなものです。途中にボーナス面があるのですが、意外に難しいのではまっているうちに時間切れにならないようにしてね。	この手のゲームってパターンとかを憶えないと先に進めないで、暗記系が苦手な私には荷が重すぎます。ある程度やり込んでると先には進むけど、なかなか上達しないしね。でも、ゲーム自体は良く出来ていると思うので、その点は一応評価しとく。	見た目のわりには楽にクリアできます。3D物ですがアバウトに作ってあるらしく、当たりそうでも意外と避けることが出来ます。ただ、理不尽な当たり方もするので一長一短ですが…。しかし、パッドを押せばなしてクリアできるのは楽だわ。
言わずと知れたナムコの作です。良く移植してあると思う。しかしこれもPAC-MANと同じくコレクターズ・アイテムと化してしまうのは仕方のないことであろう・・・合掌。	とにかくストーリーが泣ける。おれらの少年の犬の友達が悪党にさらわれて助けにいくって内容。ゲーム構成はなんかヒーローに似てる気がする結構いろんな工夫があったのしい。ちょっと難易度は高めだけどね。こーいうの売っちゃう所がATARIは偉いぞ!	御存知「コインいっこいれる」っすね。あのハードな3Dアクションを良く再現してますな。このタイトルは結構ゲーム肌な人々にも人気があつてあのR間G郎先生もこれが出来るならLYNXを買ってもいいと言っていた位だ。ナイトストライカーとか3D物が好きな人に絶対おすすすめ。	スパーハッピーシューティングでうきよきよって感じあとお買い物要素もあるのでスパーシューティングのほうが近いかな。もうつぽつきまくりで気持ちいいよん。空飛んだり海に潜ったり宇宙いったりとにかく忙しいくて飽きないぞ! ハーネスも結構良くてはふんなのだ。

ウォーバード	ビル&テッド' エクセレント アドベンチャー	Q I X	バイキング チャイルド
4人プレイ可能の空戦ゲーム。左右や上下に視点を移すことが出来る。1人プレイで修業を積んで上手く自機を操れるようになって、友達をガンガン撃墜してやろう。	時間旅行をしながら謎を解いていくアドベンチャーゲーム。2人プレイが可能。色々な楽器を使うことによって、謎を解いたりヒントを得たりします。	昔なつかしのQ I XがL Y N Xで帰って来た。しかも、最近のリメイク版ではないので、昔のQ I Xファンにはたまらないだろう。内容もまったくそのままだ。	バイキングの英雄となって、悪の帝王をやっつけろ！ジャンプを駆使して剣で切り付けろ！アイテムも有効に使い！そして家族を救うのだ！といったアクションゲーム。
3Dエアーコンバットゲー。このゲームもやはり複数プレイが燃える。複数だと撃墜ゲームになる。相手の後ろにいかにして回るか。雲の中に入ってエンジン切って近付いたり。そのへんの駆け引きが最高。左右と後ろを見ることも出来る。最高の空戦ゲーム。	映画の方は、エクセレント！なんだけど、ゲームの方は……英語がある程度出来ないとメッセージが分からないから進めないし、謎が難解だったりするし。さらに、アクションも大それたし。グラフィックもちょっとショボ目。エンディング見た日本人いたら称賛。	大昔のゲームそのまま。何にも変わってません。面が進むと邪魔キャラが増えたりスピードアップしたりするが、自分はそのままなのでツラ過ぎる。私にはせいぜい30面くらいまでしか行けないが、200面以上あるらしい。Q I Xマニア向け。	アクションなのだが、動きがヘン。おかげで調子が狂う。私にはどうも好きになれない。てなことで1点なのだが、もしかすると好きな人もいられるかもしれない。もし、買おうかと思っているなら、必ず1プレイしてからにすべし。
対戦しかないね。雲を利用して追跡を振りきって上空から無音飛行で近付き、機銃掃射で決定的なダメージを与えろというのがいいかも知れない。難易度を上げると勝負はアツという間になってしまうので、多人数で総当たりというのも面白いかも。	Bogus! まだ、ビデオを見てないのか。よし、それじゃあ昼にレンタルで借りて鞆に入れたことにしよう…。EXCELLENT!! 2作目まで借りてあるぞ。2本とも見たほうが、更に楽しめるぞ。おっと後で過去に戻ってビデオを借りるのを忘れるなよ。Later, dude!!	凄いわ、このゲーム。既に、リメイク版もあるというのに、初期のバージョンだったりする。テレゲームスは他にチェスしか作ってないみたいだけど、どうも派手な作りは苦手みたいだね。レベルも256まであるみたいだけど、マジ?	ジャンプするときの感じがかなり変、重力加速度なんか全然計算に入れてない動きをしている。お陰でジャンプで避けるのが難しいぞ。モン*ターランドは、こんな動きはしなかったと思うが、移植で手を抜いたのかな?
対戦が熱い！飛んでる途中でエンジンを切って、滑空して相手の後ろについた時はもう最高だ！もう何人たりとも俺の後ろにはつかせねえって感じだね。買って損するということは絶対にないから買い！	正直いって、難しい。マニュアルが読めないと先に進めない。出来ればレンタル中の2本のビデオも見たいところだ。おもしろいから。(^^;)音楽もなかなかきいてるので聞きたいがあるぞ。	難しい。画面の隅を這い回っている敵がいるんだけど、これが見にくくて気がつくやられてしまうんだなあ。なんかいい加減イライラしてきてやる気がなくなってしまうそう。万人にお勧めって訳にはいかないなあ。	確か昔ゲーセンにあったような気がする。タイトル忘れたけど……ま、なにはともあれ遊び易いゲームだねこれは。単純明解なアクション物です。でもマリオとかを期待してはいけないよ。てふてふ歩いていくタイプだから。

忍者外伝

横スクロール格闘アクションゲーム。邪悪な奴らに占拠された街を浄化し、平和を取り戻さなければなりません。 げを上手に使って、敵を ぎ倒せ。

LYNXの横スクロール格闘ゲームでは、最高の出来。ただ、敵が出てくる時にはやたらとウジャウジャ出てくるのがツライ。難易度は中の上くらいなので、このテのゲームが好きな人は、是非買すべきだろう。

面白いっす。横スクロール格闘物の基本である、「縦誘導でヒット&アウェイ」を守ればそんなに難しくありません。肩投げをマスターすればほとんどの敵は問題無いのですが、2面のボスとかちょっと辛い敵もいるので、根気良くプレイするしかないですね。

これはおもしろい。そこら辺のアクションゲームなんて目じゃないね。さすがはLYNXと思わせてくれる。とてもいい動きをしてるし。画面構成とかも凝っているな。しかし、面クリアしてみると分かるけど、やっぱりどっか日本を勘違いしてるな。>外人(笑)

ウルティメイト チェス チャレンジ

チェスゲーム。欧米はチェスが盛んだから強さはかなりのものだ。なんでも、全米チェス所のプログラムを元に作られたそう。チェスの腕に自信がある人は是非 戦を。

チェス。実は、最後までプレイした事がない。だって、最初の1手打ってくるまでに数十秒かかるんだもん。数手進んだら、分単位で待たなくちゃならない。終る頃にはどのくらいになってるか恐くて出来なかった。チェスの好きな気の長い人向け。強いらしい。

チェスは知らないから強いのか弱いのか解らないけど、対98戦(BATTLE CHESS)ではそこそこの勝負をしてました。ただ最強レベルではあまりにも時間がかかる事と、思考時間が終わったときに音を鳴らして知らせてくれないところが不満ですね。

なかなか良く出来たゲーム。どころへんが良いかという点と難易度の設定が良く出来ております。コンピュータの強さと思考時間は比例すると思うけど。怯にないこのゲームは何年かかってもいいから最強モードがあるのだ。6502でよくがんばっている。ちえすとー

トーナメント サイバーボール

フットボールをロボットが行う。それだけに、かなり危険なルールも追加されているので、フットボールの 常にスリルが付きまとう。

フットボールのルールなんか知らないからなあ。フォーメーションからの攻防とかも、フォーメーション覚えてないと駄目だし。ただ、ボールが爆発するっていうアイディアは○。メガドラ版みたく選手のパワーアップ出来ればもっと良かったのに。

フットボールを元に多少アレンジしたルールで、選手も人間じゃないところなど設定はいいと思いますが、フットボールのルールを良く知らないからわからないや。だって、フットボールってあんまりメジャーじゃないよね。という事でアメリカ人向けね。

未来のスポーツってやつ。ロボットがフットボールの球技をするんだけど。なんかやっぱパズルだな。全体的にスピード感ないし、わざわざなんでロボットにこんなことさせてしょ？コンセプトの無いアレンジはすきでないっす。

オーサム ゴルフ

スタンダードなゴルフゲーム。18ホールが3コースあり、4人までプレイできる。コースはそれぞれ国がい、その国 特の しい 景を見せてくれている。

まあ、可もなく不可もないゴルフゲー。ただ、ホールを拡張で見れたり、よく喋るところなんかは、けっこう感心させられる。まあ、LYNX唯一のゴルフゲームだし、けっこう楽しいので持っていて損はない一本。

LYNX唯一のゴルフゲーム。ホール数も多く練習ステージもあったりと、出来はよろしい。当然対戦も出来るので、繋げて遊ぶとなおよろしい。問題は、4人くらいで18ホールやると終る頃には疲れ切ってしまうことかな(笑)。

オードクスのゴルフゲーム。だからしっかりしてるといえばそうだな。あとPCMを多用して盛り上げてるところは好きだな。空振りすると笑われたりして結構好きな演出でしゅ。何か妙にタイミングがぴったりで私がやるとやったらスッがいいぞ。ひょっとして簡単なのかな？

ロボトロン
2084

反逆を始めたロボトロンを倒すために、遺伝子工学のミスによって超人類の力を持ったあなたが立ち上がった。残された人々を助けつつ、ロボトロンを倒すのだ。

大昔のゲーム。先に進むにはかなりの集中力が必要とされる。ゲーム自体はとてもシンプルなシステムなので、反射神経だけでなんとかなる。まあ、好きな人は1時間くらいぶっ続けてプレイするんだろうが、私には5分が限界です。

個人的に好きです。そりゃあ、単調だし画面はしょぼいし音楽もないけど、なんかこう麻薬的なはまりがたをしてしまうのです。つい始めてしまうと、思わず数時間やり続けていたりとかね。終りはないみたいなので、どこまで極められるかは気合い次第。

ものすごく古いアーケードの移植。古いつて事はシンプルって事で、画面は勿論スクロールしないけど、1画面中のキャラ数がただものではない。悟を開かないと先へは進めないでも各面ごとの攻略パターンを練るのは凄く曲は対対応。

ザイボッツ

基地内に潜入したロボットを破壊せよ！基地内は3Dで表示され、その中を自在にうごいてゆく。何もしなくてもエネルギーが減って行くので、道に迷ってる暇はないぞ。

3D迷路シューティング？迷路のマップは出るので迷うことはないだろう。3Dで建物内を自由に歩き回れるのが快感。面数はかなりありそうだが、ワープしたりも出来る。難易度は高めだが、挑戦する価値は充分にある。

この3Dは凄いぞ。この画面システムでダンマスを作れば結構いけるかもね。WIZでも戦闘シーンをアニメーションで表示したりとか、ビジュアル的に凝ったことも出来そうだが、でも、表示キャラが増えたときにスピードが問題になるかもしれないけど。

壁際のスリルがなかなかたまりませんな。路地の隙間から敵が見え隠れしたりするので臨場感もなかなかあります。しかし、アイテムを金で買うのはいいが、手に入る金が少ない感じがするな。あと、自分のエネルギーもちよいと少ないとおもうぞ。

クリスタル
マインズ

II

アクションパズルゲーム。宝石鉱山が悪魔達によって占拠された。あなたは知合いの化学者が作り上げたロボットを操作し、鉱山の最下層まで行かなくてはならない。

チップスタイプのパズルゲーム。ただし、アクションの要素がかなり強い。チップス程仕掛の種類もないので、後発として見劣りがする。見た目が地味なのもあまり良くない。それでも、パズルの要素は高い。

CHIP'Sとゲームの流れは同じですが、ボーナスステージがあったりこちらの方が凝ってます。パズルも結構難しく、何度やっても解法が解らないときもあります。敵が宝石になったりとか宝石が岩に潰されたりとか、色々理由はあるみたいだが。

はっきりいって「ハルタ-タツ」です。もうちょっと因数分解すると、7*11*13に7*11*13を足したアクションパズルですね。昔の77*112の台湾製海賊ゲームみたいで味があるな。誰もが忘れたようなのをフューチャーするのもいいけど、そのままっていうのはちょっとね。

スーパー
スクウィーク

悪に支配された5つの島を取り戻せ。50×5=250面のアクションパズルゲーム。面ごとに設定されたクリア条件を満たさないと、面をクリアすることが出来ないぞ。

ペイントローラー的なゲーム。ただし、アイテムとかの説明がどこにも無いので、いろいろやらないと何もわからない。どーしてアメリカのマニュアルってのはこうなんだか。パズル的な要素もあるので、その手の人向け。PCエンジンでも出る。

全250面、コンティニュー制限あり、パスワード不足。全面クリアする人間なんているのか？そりゃあ、50面毎に区切ってあるからまだましだけど。あ、でも、もしかして、面倒がってパスワードを聞き忘れる俺が悪いのか？

思考型であるけれど、アクションもあるってタイプでなかなかおもしろいな。敵キャラも個性があつてなかなか楽しませてくれる。トラップも多彩なので飽きがこない。面も豊富なので、未長く遊べるゲームだね。

トキ	カジノ	ホッケー	ハイドラ
全方向スクロールアクションゲーム。さらわれた王女を助けるために、呪いで猿に変えられた戦士トキはホーキメドロを倒すのだ。ジャンプと攻撃をうまく使い分けろ。	ここはLYNXカジノだ。ここでは様々なギャンブルが出来る。\$2000までお金を借りることが出来るが、使い切ったら出直すんだな。それはツキに見放されているぜ。	ホッケーゲームなのだが、乱闘あり。殴り合い負けた方がファールとなり暫くプレイできないので、ホッケーだけでなく殴り合いの腕も研かなければならない。	3Dシューティングゲーム。難易度別に3つのコースがあり、それぞれが美しい風景を見せてくれるが、あまり見とれていると敵にやられるぞ。
JuJu伝説。自分は猿。グラフィックは奇麗。元をやったことがないので移植度は分からないが、けっこう難しい。何度かやったが1面ボスでやられた。縦横にスクロールしていくのが楽しい。もう少し簡単でもいいと思うな。猿マニアは買いでしょう。	まあ、カジノなわけですね。ギャンブル系のゲームがいくつかある、と。ただ、日本じゃあまり馴染のないギャンブルもあるので、アメリカにギャンブルしに行く前にやる分にはいいお勉強になるかも。2人で出来るが、一体何をするんだろう？	ホッケーなのだが、ただのホッケーじゃない。なんかある度に乱闘になって、戦闘シーンになるという、結構リアルなゲームだ。ホッケーだけでなく、戦闘も鍛える必要がある。戦闘だけでも出来るので、お手軽通信1対1格闘ゲーとしても使えないこともない。	3Dシューティング。結構いろいろなアクションがあって良い。グラフィックもとても奇麗。アイテムも豊富で、難易度も3種類のコースで選べるので、万人ウケするゲームである。是非揃えたいゲームの一本。
出来はいいぞ。良く出来てる。でもね、俺には難しすぎるんだよう。最初のボスを倒したところくらいで大体終ってしまうのは何故なんだろう。真面目に集中してやってないのが原因かな(笑)。という訳で、見た目はいいが何かのらないゲームです。	いろんなカジノゲームが楽しめます。ポーカー・ブラックジャック・クラップス・ルーレット・スロット、持ち金がある限りいくらでも楽しめます。思わず、ボーッとプレイして数時間経つこともあるのが凄いところです。	アイスホッケーのゲームというの、まあ珍しいわな。さすがアメリカということか。一応、ゲームの方もよく出来てると思うがどんなものでしょ？ 実際のゲーム中の乱闘とかも再現されているけど、乱入が出来ないのが残念といえば残念。	EASYからひたすらやり込めば、大体クリアできるよ。出来るだけアイテムとかお金とかを取って、ショップではお金をケチらずに装備をととのえて行くことがポイントかな。途中の大型戦艦がネックだけど、BOMBをガンガン使って抜けちゃえ。
日本でのタイトルは「JuJu伝説」。トリオDEハッチと並ぶ和製アーケード奇ゲーで、バリバリのアクションもの。パワーアップとか結構気持ちいい。まあLYNXソフトの中では比較的安心して遊べるタイトルですね。ううむ思い出しちゃったじゃないかーLYNXならトリオDEハッチくらい出すべきだー。	うーん、お手軽なカジノゲームだねえ。でもなかなか侮れない。スロット、カード、ルーレット、どれもいつのまにか熱くなってしまう。でも自分の懐はいたまないのがいいね。(笑)これで練習して、それからゲーセンのメダルに挑戦するのもいいかも。(^^;)	画面はちまちましてるし、自分はすぐ画面から消えてしまってゲームに参加できないし、それでもゲームは勝手に進んでいくし……(^^;)なんかゲームというより、DEMOモードで観戦してたほうが良いと思わせてしまうなあ。むずかしい……	きめの細かい3Dアクション。湿地帯をホバーで駆け抜けるという斬新なテーマで背景が新鮮。アトラクションのように背景を楽しむという要素を多く含んでいるね。外へ出かけて開放的な状態でプレイすると燃えるとおもうよん。こちらへんからROMカートリッジがいいかげんになった

バットマン リターンズ

同名の大ヒット映画のプロモ?として殆どのゲーム機で発売されたシリーズのLYNX版。となり街の平和を守るために悪人を倒せ!という横スクロールアクション。

難しい。とにかく難しい。普通に戦っている、とうてい1面クリアすら望めない。敵が多い上に攻撃がとてもいやらしい。逃げの一手でどんどん先に進むしかない。それでもやっと2面の中盤に行けるくらい。クリア出来る人なんているのか?

もう、ゲームバランス考えてません(断言)。難しすぎるぞ、本当に。アメリカ人は何考えてんでしょうか。未だに2面を越えることが出来ないのに、4面まであるみたいだしねえ。でも、やってる間に技を憶えていくので、うまい人ならクリア出来るかな?

メモリアルの高い版權ものをぶつけてきたけど中身の濃い分ちょっと難しいかな。私は1面を越えたことがありません。絵、音、動き共に良く出来てるんだけど、バランスをなんとかしてほしいかったよ。でも、バットマンってもっと強くあるべきだとも思う。ゲームの弱点だな

ランパート

城壁を修復→敵船を攻撃→破壊された城壁の修復→敵戦を攻撃…と続く。修復が出来無くなったら終なので、攻撃よりも修復がメイン。修復はパズル仕立ての半パズルゲーム。

城壁修復ゲーム。ジャンルは、パズル&シューティング。シューティングとしてもパズルとしても難易度がかなり高目。自分なりのコツを掴んでないと先には進めないかも。雰囲気とかは結構好きだし面白いんだけど、難しい。

アーケードにもあった奴だね。ルールは単純なんだけど、意外に難しいのだ。でもやって苦痛はないから、気に入ったらやり込むべし。ビジュアルシーンとかの出来も高水準なので、持っていて損はないと思うよ。

シミュレーション風パズルゲームかな?でも原始的なシミュレーションってパズルだよな。うーむ奥が深い。こういう中世な戦争を題材に戦力を記号的にして進化した将棋みたいなのは結構いいとおもう。気軽に暇潰しに最適。ずっしりとした暇潰しってあるのか?

バスケット ブロール

敵チームのプレイヤーを殴ったり武器で攻撃したりしてボールを奪ってゴールさせる。しかし、敵も攻撃してくる。かなりイカれたルールの喧嘩バスケットゲーム。

喧嘩バスケット。アイディアは良い。凄く良い。ただ、それ以外がどうしようもないくらいに悪い。動きとか、敵の行動パターンとかがひどすぎ。ちょっとやってみるか、でエンディングまで行ってしまふようなソフト。アイディアはいいのに……

喧嘩バスケットだ。最初にキャラクターが選べるから、まずは足の速いキャラクターを選ぼう。このゲームは足の速さが重要なので、攻撃力とかはあえて無視。ゲーム中は敵を攻撃することだけに専念して、敵を倒した後で得点すれば楽だよ。

1 on 1 にどつき合い付いて気がしないでもないけど、まあ許せる範囲だろう。しかし、どうしてもバスケット自体よりどつき合いのほうに熱が入ってしまうのは、しょうがないのであろうか……?(笑)

カンフッド

開発中の薬品のせいで縮小してしまった自分は、同じく薬で凶暴化してしまった野菜達を倒して、キッチンから脱出する。という変な設定の1対複数の格闘ゲーム。

横スクロール格闘ゲーム。動きやグラフィックが秀逸。設定のヘンさ度合はかなり高くて楽しい。先に進むと敵がウジャウジャ出てきて手に負えない。なんか、LYNXの横スクロール格闘してみんなそうなんだよな。もうちょっとどうにかしてほしいぞ。

大きなキャラクターがガンガン動いて気持ちのいいゲームだ。難しそうに見えるが、それぞれの敵にあった攻撃方法を見つけ出せば、意外とダメージを受けることがない。押しっぱなしで連射も効くので、取り敢えずやってみるべし。

いわゆるファイナルファイトタイプのアクション。敵キャラがみんな冷蔵庫の中の食品とかだったりします。でも「おおいるぞうさん」と違ってみんな凶悪ですわ。ビリーカーンにたいなリセージがかっこいいけど、全体的に難しいよ。難易度設定とかあるともっと遊べるんだけどね。

シャドウ
オブ ザ
ビースト

悪魔の姿に変えられた主人公を操って野獣の王を打ち倒せ！全12面の縦横スクロールアクションゲーム。背景のスクロールやキャラの動きが滑らかでそれだけでも凄いぞ！

移植もの。AMIGA版やったことないけど、良く出来てる。動きが凄くなめらかで、ばっくも多重スクロールして綺麗。ただし、難易度が高い。特定のアイテムだが条件を満たしてないとボスを倒せないが、それが何か分からないし。でも、いい出来だから許す。

動きが変に滑らかでいいぞ。ゲームの方はパターンを憶えればどんどん進んで行くので、とにかくやり込むしかない。しかし、所々でパズル的な部分もあるので、先に進めなくなったら色々な可能性を考えて方がいいよ。でも、実は4面のボスが倒せないのだ。

パソコンゲームからの移植だけど、雰囲気は損なわずにうまく移植されてるね。しかしゲーム性という目で見ると、アイテム関係でこれが無いとクリア出来ないというハマりがあったりして、結構むうだったりするのだった。

スチール
タロンズ

3Dポリゴンのヘリコプターゲーム。与えられた指令に従って的全滅させろ！ポリゴンなので、山の間を飛んだりするのは思いのまま。しかも、なめらかに動くぞ

ポリゴンのヘリコプターもの。ヘリだからなのか、スピード感はいまいち。キャラも小さいので、LYNXのあの画面ではポリゴンと言われてもよくわからない。でも、やってて結構面白い。難易度は低め。いいゲームであることは間違い無し。

操作に慣れないんだよね。ヘリ独特の動きである急旋回とか、旋回しながらの攻撃とかが出来ないので(逆に攻撃を受けまくる)、ほとんど進みません。やはりヘリ物は専用のコントローラーとかがないと出来ないものだと思うことにしておこう。

ヘリコプターの雰囲気良く出てるとおもう。画面がポリゴンでさっぱりしてるわりにはおもしろいです。途中でタイムトライアルがあったりして飽きさせないようにしてるのもマル。しかし一人よくなのが惜しい。あと市街戦とかもほしかったね。

ベースボール
ヒーローズ

3Dタイプの野球ゲーム。打順は好きに変える事が出来、野手も2人のうちから好きな方が選べる本格派。野球以外に守備だけやバッティングだけのモードも用意されている。

野球ゲーム。画面が小さい上にボールが小さいので、守備なんか出来たもんじゃない。バッティングも3Dなので上下左右とタイミングを合わせないと飛ばないし。かなり野球ゲームに慣れてる人じゃなくちやコンピュータとまともな勝負すらできないだろう。

まあ、あれだ。野球ゲームと言ってもファミスタの感覚でやってはいけないぞ。日本の野球ゲームは斜め上からの俯瞰だから、打つタイミングとかもそれに慣れているけど、一旦忘れてしまわないと出来ないぞ。ただ、慣れちゃうとファミスタに戻れないかもね。

はっきり言ってスーパースター物は好きじゃないんだよね。そーいう人でもそこそこ遊べるといいんだけどねー。そんなのって殆どない。そう、フィカートのゲーム中に看板が出てくるぞアノケト葉書にフィカートで知ったと書くべし。なんじゃそりや(〃；

NFL
フットボール

NFL公認のフットボールゲーム。NFLが公認しただけあって、かなり本格的なゲームが楽しめる。NFLのファンなら是非とも欲しいのではないのでしょうか？

純粋なフットボールゲームなので、フットボールファンむけ。フットボール知らない人はやるべきじゃない。でも、同じフットボールなら、いろいろな要素がある分サイバーボールの方が面白いかもしれない。どちらにしてもフットボール知らないやX。

サイバーボールで書いているけど、日本ではフットボールはマイナーだからルールも分からないし、ましてやフォーメーションなんて普通知らないぞ。まあ日本で発売されたわけではないから、文句は言えないのかもしれないけど。

NFLの名前だけで売ろうと思ってるなって感じ。どうもフットボールってよくわかんないや古くは10ヤードファイトから始まり、スーパースター物の中では面白そうな雰囲気を発しているけど、どうも取っ付けないよおだれか私に伝授しておくれー。

スイッチブレード II

右腕に最強の武器、スイッチブレードを付けた男を操り、悪の首領を倒せ。スイッチブレードの他にも飛び道具が使える。敵の帝国に潜入して悪を破壊するのだ。

AMIGAからの移植。やはり元はプレイ経験なし。まあ、そこそこに面白い。ただ、ショップで買うウェポンが使えなさ過ぎ。あれで高い金取るんだから、まったく。てなわけで、バランスがあまり良くないので先に進むのはツライので、腕に自信のある人向け。

うーむ、ありがちな縦横スクロールアクションゲーム。ほとんどパターニングだから、各所のアイテムとか罠とかを憶えることが上達の近道でしょう。でも、何となくショボイゲームなので、あまりやる気はしないですね。罠の意地が悪い所も嫌。

元はAMIGA用で、どうも日本のゲームを意識しているらしい。イメージイラストもアニメ調。でもどこかあさはかなんだよね。単調な横動作アクションでどっか気の抜けたツラさを感じ。絵は中途半端でもいいから中身はびしっとするのが日本の良い所だと思う。

ピンボール ジャム

ピンボールゲーム。画面は横画面で上下はスクロールする。操作は左がパッドのどこかの方向、右がボタンとやりやすい。しかも、台は2種類入ってるといってお特版。

凄く出来がよい。スクロールがなめらかだし色使いもいいし効果音も素晴らしい。元々ピンボール台であったものの移植だけに役物の配置とかは申し分無し。マルチボールも当然ある。ピンボールゲームとしては、ゲーム機の中でもトップクラスであろう。

これは好き。ピンボールゲームとしてはよくできています。でも、オリジナルの台と細部が異なっているために、高得点を狙うとすると攻略方が変わってきます。それぞれLYNX固有の稼ぎ方を見つめるように色々試してね。一応、LYNX本5に載ってるけど…。

ピンボールです。そこら辺のピンボールです。でも喋るんだこれが。しかも奇麗に喋るんだ。しかしそこまで…とくにこれといった売りもないし、純粋にピンボールをやりたい人向けだね。でも2種類しかないのはちょっと寂しいな。

ワールドクラス サッカー

サッカーゲーム。拡大縮小を使っている、見た目も楽しませてくれる。そして、チームはなんと100ヶ国以上の国から選ぶことが出来る！

拡大縮小を使っているはあるがキャラが小さくて見にくい。拡大縮小のスピードが遅い上に拡大率も高くないのが難点。あとは普通のサッカーゲームとあまり変わらないのだが、見にくいだけでもやる気はそがれてしまうものだ。

どうしてサッカーゲームで、操作性がよく見えた目にわかりやすいものと言うのがないんだらうか？このゲームを見てみると、思わずそんな事を考えてしまう。最低でも待スピリッツぐらい拡大縮小のスピードでゲームが進まないという気はしないよなあ。

機能的には、拡大縮小なんかを使って見栄えもいいんだけど、やはりどっか洗練されたものがないんだよね。リアルさを求めるのはいいんだけど…好きか嫌いかわからずに別れてしまうんじゃないかな。

ダーティー ラリー

横スクロールアクションだが、最近の流行の奥行き有りではなく、奥行き無しの一直接線型。パンチと拳銃弾で街のごろつき共を一掃しろ！

完全な覚えゲー。しかもゲームバランスがとても悪い。ゲームというより作業をしている感じになる。先に進むのが難しい上に、やろうという気にならないから進まない。ただ、面クリア後のビジュアルは良い。でもそれだけ。

ストーリー的には良い方に分類されるかな。ゲームクリア時にビジュアルシーンが挿入されたりとか、演出は凝ってると思う。ただ、ゲーム自体の難易度は高いかな。武器の拳銃をなるべく使わないようにしないと、ゲームクリアは難しいよ。

オープニングがかっこいいけど、ゲームの内容がさみしいよん。ファミコン版のあぶない刑事くらいひどいぞ。敵が容赦ない。敵の攻撃に結構どきどきするけど、ゲームとしてどきどきする訳じゃない。でも、ボニヤのスパルタンXよりかは遊べる

ジャウスト

昔のゲームで、慣性を上手く使ったゲーム。とてもシンプルなシステムなので、一度やり出すと止まらないかも。かなり上手い人だと何時間も続けてプレイするらしい。

大昔のゲーム。らしい。慣性や重力が効いているので、自機の操が非常にやりづらい上に敵が多い、速い。かなりシビアなゲーム。面はほぼ無限にあると思われる。しかし、そんなにやりこむには、そうとうの思い入れがなきゃ無理だろう。

知らない人に説明するときは「バルーンファイト」というのが一番だけど、こだわる人に言うとなぜ怒られるから気をつけましょう(笑)。駝鳥に乗って蹴りあうだけだけど、慣性が働くので操作は難しいよ。でも、頭を空にしてやると結構良いかも知れない。

ゲーム自体が単調なせいか、すぐ飽きてしまいそうな雰囲気を持っているな。鳥の慣性についても、画面に対して効きすぎとおもうな。ほんの1, 2ドットの世界なんだけど、(^^;)やはりこれも対戦があるので、そっちの方が楽しいかな？

ピット ファイター

アーケードからの移植の格闘ゲーム。アーケードでは取込み取込みのキャラクターが美しかったがLYNX版でもそれは健在。操作性も良いのでハマること間違い無し。

アーケードの移植。残虐行為手当てと字が出ないのが寂しい。基本的に移植度は高く、画面の小ささを拡張やスクロールで補っているの、キャラの小ささは感じない。しかし、バックとキャラが同系の色なので多少見づらい。後はほぼ満点といったところ。

ああ、メッセージが英語だ(笑)。いや、そうじゃなくて、えーとあれだ、画面が小さいためにキャラクターが見にくい。操作系では、ボタンを押したままで連射が効くのが、じじいには楽でいいぞ。でも、CHAINMAN×2を倒すのが運次第というのは勘弁。

ゲーセンからの移植物だけど、やっぱりクセがあるなあ。敵との間合いが全然つかめないし、起き上がった瞬間に袋叩きって感じて復帰が難しい。まあ、慣れっというものもあるだろうけど...

パワーファクター

4方向スクロールのアクションゲーム。主人公はゲーム中のパーティアルリアリティ・シュミレーターでパーツを集め爆弾を完成させボスを倒すのが目的。

上下左右に動き回れるゼノフォブみないな感じです。キャラはあれより大きいけど。動きも良く、やっていると結構進めるので面白いくらい良いです。各面の最後にはボスがいるんだけど、対戦前と後で体力回復があるので、危なくなったら逃げ込むと心得。

横型アクションシューティング。音が結構派手でイカす。グラフィックも綺麗で、ゲームも良く出来ている。欠点は、ボスの攻撃が単純で、固いので単調になってしまう事。それ以外はかなり良く出来ていて、LYNX後期ソフトの中でもトップクラスに入る出来だ。

なんか、カルテットを思い出す画面構成なり。でも、やっぱりBGMは無いのでちょっとさみしい。ゲーム的にはありきたりな物なんだけど、妙に動きがいい。でも、いまいちキーの反応が悪いので玉に傷って感じ。可もなく不可もなく...

ドラキュラ

前編セピアカラーの異色のアドベンチャーゲーム。ドラキュラの城に潜入し、彼の弱点を全て調べ書き記し、城から脱出するのが目的。当然、全編を通して英語(^^;

これは凄いよ。セピアカラーのADVで、一応コマンド選択式。移動は実際に画面の人物を動かして、対象物の前でコマンドを選択するようになる。という感じだが謎解きが結構難しい。英文が多くて大変だけど、辞書で訳しながらでもやる価値はあると断言できる。買え

LYNX初のアドベンチャーゲーム。システムや雰囲気もとてもよい。実際、絵だけでもっと解像度上げれば、CD-ROMなんかでインタラクティブアドベンチャーとか言って、パソコンとかで出てもなんら遜色ない。それ程出来はいい。ただし英語メッセージの壁を越えられる人のみね。

なんともいえない雰囲気がよいのだが、いかんせん僕は英語は超苦手なり。そういう点からみると、英語が苦手なだけで、LYNXソフトの楽しさを半分以上、奪われているのかもしれない。特にアドベンチャーのジャンルは最も言語に依存するので、駅前留学したい

レミングス

レミングという種類のねずみを誘導して全員出口へ導くという、アクションパズルゲーム。LYNXソフトとしては超メジャータイトルの移植だ。

有名なゲームの移植ですね。どこでもレミングスが出来るといのがLYNX版の利点かな。レミングス自体あまりやったことがないから移植の出来具合はわからないけど、出来は悪くないと思う。しかし、私の機械では左右移動すると行きすぎてしまうので困りもの

有名なシミュレーションゲーム(?)の移植版。とはいえ他の機種のをプレイしたことがほとんど無いので(パソコンショップの店頭でやったくらい)、移植の出来はよくわからない。まあ、好きな人にはどこでも出来るようになっていいんじゃないかと思いますが。

有名なシミュレーションゲーム(?)の移植版。とはいえ他の機種のをプレイしたことがほとんど無いので(パソコンショップの店頭でやったくらい)、移植の出来はよくわからない。まあ、好きな人にはどこでも出来るようになっていいんじゃないかと思いますが。

ゴード106

しっぽの長いサルが、動物を原料にした化粧品を作る工場に捕まった仲間の動物を助けに行きという、ストーリーの、横スクロール型アクションゲーム

出るのが早すぎたスーパードンキーコング(嘘)まあ、猿だし、妙に動くし、ということ。ただ、面の構成がややこしいので、難易度は高い方でしょう。最初の方で下に落ちても2カ所とも全然違う場所に行ってしまうので、攻略MAPでもない無理だス。

LYNX2本目の猿ゲー(1本目はトキ)。なんといっても、この自キャラのチンパンジーの動きがいい。動きの猿加減ではスーパーファミのスーパードンキーコングなんか比べモノになんない。アクションゲームとしては結構難しいんで、アクション派か猿マニア向けって感じ。

他の機種ではMACINTOSH版のデモ版をPCのエミュレータという変な環境でしか無いのだが、それはそれで、結構遊べた。LYNX版もしかり、やはり基本がしっかりしてるアンチアクションのゲームは何処へもっていてもしっくりきますね。でも、結構目が

ジミーコナース
テニス

テニスのトーナメントを勝ち抜いて、ランキングトップの実在のプロテニスプレーヤーのジミーコナースと対戦する、というテニスゲームだ。COMLYNXで対戦プレイも可。

しばらくすると必ず出るというテニスゲームだ。変わっているのは実在のテニスプレイヤーの名がついていることかな。しかし、ご多分に洩れず、慣れないとゲームにならない所は同だったりします。まあ、コナースのファンとかなら可。(オイ)

テニスゲーム。おそらく出来はいいと思われる。ただ、私はスポーツゲーム否定派だし、ましてテニスなどやったこともないから点数をつけようってのが無謀かもしれない。しかし、スポーツゲーム特有の見にくさがあるので、慣れてない人だと難しいかもしれない。

うみや、テニス物は良く分からないなりよ。やはり、普通のゲームは受け付けられない様な西洋のオヤジ達が買うようなソフトだな、こっつ。つまるところ、あんまり気合いは入ってないってことですね。まあ、LYNXユーザーにはあまりそんなタイプは居ないと思う。

ディノリンピクス

原始人をゴールまで導いて、そこにあるアイテムを取るとクリア、というパズルゲーム。面が進むとアイテムが増えたりする。しかし、セーブが数面毎なので難易度はかなり高い。

画面にいる人を使って、ゴールに置いてあるアイテムを取るのが目的のパズルゲーム。人を梯子がわりにしたり、槍を使ってジャンプしたりと方法は多彩。だが、アクション性が高いうえに、制限時間や人数制限があるのでかなり難しい。普通は全面クリアは無理

一風変わったタイプのパズルゲーム。おもしろい。LYNXのパズルゲームは外れがないから凄い。操作方法はチップスチャレンジ程単純じゃなく、何種類かの行動が出来るのでそれを把握しないとクリアは出来ない。パズルゲーム好きなら買って損はないだろう。

原始人を操るミッションをクリアするというアクションパズル。一見レミングスの様に見えるが、その本質は全然違う。ちょっとタイトルが変わっているが、JAGでも発売されている。アタリお箱のゲームになるのだろうか? VRシステムでも出たりして(〃)

総評

LYNXは良い

スライムを

8人プレイ

せよ!!

良いゲームも
多いが、つまらない
ゲームも多い。

レビューを参照し、
良いゲームを

狙え!!
-21-

おくづけ

発行	日本LYNX普及委員会
発行人	鱈久
印刷	たらちゃんコピーサービス MCD愛媛出張所、MCD越谷出張所
特別協力	Ryun☆様
連絡先	日本LYNX普及委員会
初版	1995年 8月20日
サポ-トBBS	

日本

LYNX

普及委員會